

① この記事の最初の文（第一段落）を読んで、主語と述語を抜き出しましょう。

主語

( **渡辺一平選手** )

述語

( **報告した** )

② 渡辺選手は選手村で、あるスーパースターとすれ違ったそうです。誰でしょうか？記事から探しましょう。

陸上男子1000mを制した  
ボルト選手

③ 母校出身の有名な人や、歴史上の人物を挙げてみましょう。

学校ごとに違うので省略いたします

佐伯鶴城高校  
リオデジャネイロ五輪競泳男子200m平泳ぎで6位入賞した渡辺一平選手(19)は早稲田大、津久見市出身。15日、母校の佐伯鶴城高校を訪れ、馬場宏之校長らに成績を報告した。

佐伯鶴城高校

## リオ五輪200m平泳ぎ6位入賞 渡辺選手、母校に報告



リオ五輪の裏話などを和やかに報告する渡辺一平選手(左)と佐伯鶴城高校水泳部の下城智宏監督＝15日

校長室で報告会があり、小寺隆同窓会長が「感動した。同窓生の誇り。東京五輪でも期待している」と歓迎。渡辺選手は五輪新記録を出した準決勝を振り返り、メダル獲得を誓い合つて練習してきた大学の先輩坂井聖人選手が直前に銀メダルを獲得し、気持ちが入

っていたことを説明。「決勝であのタイムを出せたなら金メダルだった。悔しい気持ちもあるが、自己ベストを1秒以上更新することができ、自分自身を褒めてあげたい」とし、「来年の世界水泳ではメダルを持って帰る」と話した。

母校の後輩が惜敗した全国高校野球選手権大分大会決勝をブラジルで応援したこと、陸上男子1000mを制したボルト選手と選手村で擦れ違った際の印象など、裏話も披露した。

この他、佐伯市役所を訪れ、西嶋泰義市長にも報告。津久見市では母校の津久見小学校を訪れ、後輩の児童と交流した。

(2016年9月16日付朝刊県南面)